

(2) 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和2年度分）

＜県の評価等＞

施設所管部名：環境生活部

1 指定管理者の概要等

施設の名称および所在	三重県環境学習情報センター (四日市市桜町 3684-11)
指定管理者の名称等	アクティオ株式会社 代表取締役社長 淡野 文孝 (東京都目黒区東山 1-5-4 KDX 中目黒ビル6F)
指定の期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	1 環境の保全に関する普及啓発を行うこと 2 環境の保全に関する研修会、講習会等を行うこと 3 環境に関する情報の収集および提供を行うこと 4 環境の保全に関する活動の促進および交流等を図ること 5 その他（施設等の維持管理および修繕に関すること等）

2 施設設置者としての県の評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R元	R2	R元	R2	
1 管理業務の実施状況	A	A			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、設備の消毒徹底や換気等の対策を行いながら、県内各地で幅広い年齢層を対象にした講座の開催や出前講座により、環境学習の推進を図るとともに、定期的に情報誌を発行してセンターの周知を積極的に行った。
2 施設の利用状況	B	B			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の休館やイベントの中止を行い利用者は減少したものの、対策を行いながら出前講座等の開催や小中学生の社会見学を受け入れ、利用者に普及啓発活動を行った。また、年度初めに小中学校に「環境学習プログラムガイド」を送付し、施設見学や環境学習講座の利用促進のための工夫をした。
3 成果目標およびその実績	A	B			新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの中止や出前講座のキャンセルが多く発生したことから、環境教育参加者数は大きく減らしたものの、新たにオンライン会議や講座の動画配信を行うなど、環境学習講座の利用促進や業務のさらなる改善、利用者の満足度の向上に努めた。

※「評価の項目」の県の評価：
「+」（プラス） → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
「-」（マイナス） → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
「 」 （空白） → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

<p>総括的な評価</p>	<p>(1) 成果目標に対する達成度 新型コロナウイルス感染症が拡大した影響でイベントの中止や出前講座のキャンセルが多く発生したことから環境教育参加者数等は目標を達成することができなかったが、講座等の参加者の満足度は目標を達成することができた。</p> <p>(2) 残されている課題 多様な主体が参加できるように、県内における他の環境活動者とのネットワークの充実について引き続き取り組む必要がある。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で導入した新たな活動様式である、オンラインでの講座やコンテンツの拡大を行うなどの取組が必要である。</p> <p>(3) 翌年度に取り組むべき成果目標の設定 新型コロナウイルスの影響でイベント・講座等が中止となり環境教育参加者数が大きく減少したものの、感染症対策とともにセンターの利用促進に努めた結果、児童・生徒を対象とした環境教育参加者数等は一定確保することができた。今後は、コロナ禍やコロナ後を見据えた適切な目標を設定し、達成できるよう取り組んでいく必要がある。</p> <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県の実施したモニタリングの状況 毎月センターから提出される管理運営報告を確認するとともに、指定管理業務について年2回モニタリングを実施し、概ね適正に処理されていることを確認した。 ・ 県民のサービス向上の成果 県内各地での主催講座や出前講座の開催、イベントの開催・出展、社会見学の見学受入れ、情報発信、施設や図書等の維持管理が適切に行われている。環境情報の収集、発信については、得られた情報を講座に組み入れて提供するとともに、講座、イベントの開催等について、情報誌「環境学習みえ」やホームページ、メールマガジン、SNS等により積極的に情報を発信した。 ・ 県民の平等利用の確保 循環型社会の創造に向けた環境保全活動や次世代育成支援に取り組むとともに、講座開催場所の地域バランスを考慮し、事業を実施した。遠隔地からの出前講座の依頼にも対応した。 <p>以上のことから、三重県環境学習情報センターの管理者として適切な実績を残していると評価できる。今後も引き続き、県内環境団体とのネットワークや環境学習推進員が持つノウハウを生かし、環境学習・環境教育の一層の充実を期待する。</p>
---------------	--

＜指定管理者の評価・報告書(令和2年度分)＞

指定管理者の名称：アクティオ株式会社

1 管理業務の実施状況および利用状況

(1)管理業務の実施状況

① 三重県環境学習情報センターの管理事業の実施に関する業務

- ・三重県環境学習情報センターの管理事業の実施にあたっては、基本協定書および年度協定書の管理業務（業務計画書）に基づき、環境教育の普及・啓発と県民サービスの向上に努めた。
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、玄関ホールに入館者の手指消毒用アルコールの設置、受付窓口の飛沫感染防止シートの設置、講座時はマスク着用、部屋の換気、間隔をとっての着席、必要に応じて透明アクリル板の設置、次亜塩素酸ナトリウムでのふき取りなどを行った。
- a. 展示施設管理
- ・展示施設等の維持管理業務では、展示室の維持管理、研修室等の貸室業務、図書の管理業務を実施した。なお、社会見学などでの利用があった後は、次亜塩素酸ナトリウムで接触部位のふき取りを行った。
 - ・貸室利用は12件、環境啓発パネルや教材キットの貸出は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどのイベントが中止となったため0件だった。（上記以外に7件の貸室申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためキャンセルとなった。）
- b. 環境講座
- ・主催講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集人数を減らし、マスク着用、間隔を取って着席、または間にアクリル板を設置、窓を開けて換気するなどの対策をして実施した。
 - ・環境学習指導者養成講座は50回開催し、延べ1,035人が受講した。主な主催講座として「環境基礎講座（全5回）」「ESD実践講座」などを開催した。また、その他のセンター主催講座は24回開催し340人が受講した。各講座の開催にあたっては、県内各地の施設や団体との協働にも努めた。
 - ・学校等の来館による施設見学と環境講座は80回、5,066人が受講したが、10月中旬～11月中旬に希望が集中したため、断らざるを得ない場合も多数あった。
 - ・県内各地へ出張して実施する出前講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため依頼（予約）のキャンセルが相次ぎ、78回、3,761人の受講にとどまった。
- c. 環境イベント
- ・12月に四日市大学と共催で「冬のエコフェア2020」をオンラインで開催した（参加者：65人）。
 - ・8月に予定していた「夏のエコフェア」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。代わりに、事前申込制の子ども向け環境講座を実施した。
 - ・四日市市の近隣3施設との協働事業「ワクワクふれあいまつり」と、その中での「春のキッズエコフェア」および、「秋のキッズエコフェア」の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。代わりに、展示ホールでの環境パネル展を実施した。
- d. 情報発信
- ・情報紙「環境学習みえ」を年4回の発行と毎月10日発信のメールマガジンに加え、ホームページやFacebook等を運用し、適時、情報発信に努めた。
- e. 公募事業
- ・「地球温暖化防止啓発ポスターコンクール」を実施した（中学生の部1,406作品、小学生の部257作品）。優秀作16作品（小学生の部8作品、中学生の部8作品）を表彰し、三重県総合博物館とイオンモール四日市北店、および三重県立熊野古道センターで入賞作品の展示を行い、地球温暖化防止の啓発を実施した。
- f. こどもエコクラブ三重県事務局事業
- ・県内の「こどもエコクラブ」の登録会員数は、年間で57クラブ、9,826人であった。
 - ・各市町担当者への研修会として、5月に「こどもエコクラブ市町担当者研修会」を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
 - ・各クラブの活動の様子など1年間の活動をまとめた「令和2年度 こどもエコクラブ活動報告集」を作成し、各クラブに配布した。

- ・県内のこどもエコクラブの交流を図るための「三重県こどもエコクラブ県内交流会 2020」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインによる正月かざり作りを行い、その写真の動画配信と活動報告集への掲載で交流会に替えた。

② 施設および設備の維持管理および修繕に関する業務

- ・館内施設について、毎日の巡回点検を励行し、安全管理と設備の維持管理に努めた。

③ 県施策への配慮に関する業務

- 人権尊重社会の実現への取組
 - ・聴覚や視覚の不自由な方が来館されたときに、受付で筆談の案内や補助犬同伴による利用の案内を実施している。
- 男女共同参画社会実現への取組
 - ・三重県男女共同参画センターの事業「フレンテまつり」へ出展を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「フレンテまつり」が中止になった。
- 持続可能な循環型社会の創造に向けた環境保全活動への取組
 - ・「食品ロス」をテーマとした講座開催を通じて実践・啓発に努めている。

④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・「三重県環境学習情報センターの管理に関する情報公開実施要領」に基づき適正に対処した。令和2年度においての情報開示請求はなかった。
- ・個人情報保護については「三重県個人情報保護条例」を遵守するとともに、「三重県環境学習情報センターの管理に関する基本協定書」第12条に基づく「個人情報保護に関する事項」に従い適正な管理を励行し、アクティオ社内においても「施設個人情報安全対策」に基づき、個人情報保護教育を行った。

⑤ その他の業務

特になし

(2) 施設の利用状況

環境学習情報センターの利用者数

	目標	実績	達成率
令和2年度環境教育参加者数	34,000人	13,750人	40.4%
令和元年度環境教育参加者数	34,000人	37,058人	109.0%
対前年比	100.0%	37.1%	
利用者内訳			
	回数	人数	
主催講座	72回	1,363人	
出前講座	78回	3,761人	
学校社会見学	80回	5,066人	
一般団体見学	46回	167人	
フリー来館	-	1,490人	
交流会	9回	102人	
行事等	3回	138人	
ポスターコンクール	-	1,663人	
合計	288回	13,750人	

2 利用料金の収入の実績

- ・貸室利用は12件あったが、減免対象に該当したため、すべて無料の使用を許可した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにキャンセルとなった貸室申込が7回、台風接近による中止が1回あった。

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

収入の部			支出の部		
	R元	R2		R元	R2
指定管理料	40,259,352	40,761,202	事業費	34,075,751	30,459,318
利用料金収入	0	0	管理費	3,330,695	5,558,732
その他の収入	344,331	228,546	その他の支出	0	0
合計 (a)	40,603,683	40,989,748	合計 (b)	37,406,446	36,018,050
収支差額 (a)-(b)	3,197,237	4,971,698			

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	22,500円
---------	---------

4 成果目標とその実績

1 達成すべき成果目標			
項目	目標値	実績	達成率
①環境教育参加者数	34,000人	13,750人	40.4%
②児童・生徒を対象とした環境教育参加者数	10,000人	9,600人	96.0%
③指導者養成を目的とした講座受講者数	1,500人	1,035人	69.0%
④他の環境団体等と協働した環境活動数	20件	14件	70.0%
⑤講座の参加者の満足度	90%	98.7%	109.7%
2 独自で定めた成果目標			
項目	目標値	実績	達成率
①一般の県民を対象とした環境学習参加者数	2,700人	1,385人	51.3%
②「センター通信」等の情報発信数	365回	395回	108.2%
今後の取組方針	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、年度前半の講座のほとんどが開催できず、参加者の満足度と「センター通信」等の情報発信数以外は、目標値を達成できなかった。 引き続き、利用者の増や自発的に環境活動に取り組む意向の向上に向けて、事業内容のさらなる充実、さまざまな主体との連携に努めていく。		

5 管理業務に関する自己評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	R元	R2	
1 管理業務の実施状況	A	A	第3期目の5年目として業務計画書や基本協定書に基づき、管理業務や事業展開を行い、目標の達成に努めた。同時に従来業務の見直しや運用ルールの見直しなど、業務内容のさらなる改善と利用者満足度の向上にも努めた。
2 施設の利用状況	B	B	年度初めに、各市町教育委員会を通じて小・中学校に「環境学習プログラムガイド」を送付し、施設見学や環境学習講座の利用促進に努めた。 「かんきょう工作教室 あそべるたいむ」の定期開催や、2ヶ月ごとに入替えの企画展示を実施した。
3 成果目標およびその実績	A	B	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、センター展示ホールの利用中止や、イベントの中止、出前講座のキャンセルが相次ぎ成果目標の達成には至らなかった。そのため、センターでの「あそべるタイム」の代わりに、ホームページから「エコぞうのぬりえ」をダウンロードできるようにした。 また、「夏のエコフェア」の代わりに、秋に子ども向け環境講座と、展示ホールでの環境パネル展を実施した。 そのほか、自然観察、風呂敷の活用、貝殻ストラップや貝殻ブローチの作り方などの動画配信を行い、自宅や自宅周辺での環境学習・活動を推奨した。

- ※評価の項目「1」の評価:
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
「B」 → 業務計画を順調に実施している。
「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※評価の項目「2」「3」の評価:
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
「B」 → 当初の目標を達成している。
「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

<p>総括的な評価</p>	<p>(1) 成果目標 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどのイベントが中止となり、出前講座もキャンセルが相次ぎ、センターの主催講座も募集人数を減らすなどしたため、自主設定目標を含め、目標値を達成できたものが少なかった。</p> <p>(2) 残されている課題 継続的な課題として、センター利用者の満足度の向上や、さまざまな主体との連携や協働体制のさらなる充実に努めていく。</p> <p>(3) 翌年度に取り組むべき成果目標の設定</p> <p>1) 達成すべき成果目標</p> <table data-bbox="544 510 1294 667"> <tr> <td>①環境教育参加者数</td> <td>34,000人以上</td> </tr> <tr> <td>②児童・生徒を対とした環境教育参加者数</td> <td>10,000人以上</td> </tr> <tr> <td>③指導者育成を目的とした講座受講者数</td> <td>1,500人以上</td> </tr> <tr> <td>④他の環境団体等と協働した環境活動数</td> <td>20件以上</td> </tr> <tr> <td>⑤講座の参加者の満足度</td> <td>90%以上</td> </tr> </table> <p>2) 独自で定めた成果目標</p> <table data-bbox="544 701 1294 763"> <tr> <td>①一般の県民を対象とした環境学習参加者数</td> <td>2,700人以上</td> </tr> <tr> <td>②「センター通信」等の情報発信数</td> <td>365回以上</td> </tr> </table> <p>(4) その他</p> <p>①県民の平等利用の確保 主催講座の開催場所は地域のバランスを考慮し、広報の仕方や開催時間の調整など、きめ細かい対応に努めた。</p> <p>②県民サービス向上の成果 アンケートや利用者からの意見を参考に、情報発信や講座開催の改善を図り、サービスの向上に努めた。講座アンケートでは高い満足度の評価をいただいている。</p>	①環境教育参加者数	34,000人以上	②児童・生徒を対とした環境教育参加者数	10,000人以上	③指導者育成を目的とした講座受講者数	1,500人以上	④他の環境団体等と協働した環境活動数	20件以上	⑤講座の参加者の満足度	90%以上	①一般の県民を対象とした環境学習参加者数	2,700人以上	②「センター通信」等の情報発信数	365回以上
①環境教育参加者数	34,000人以上														
②児童・生徒を対とした環境教育参加者数	10,000人以上														
③指導者育成を目的とした講座受講者数	1,500人以上														
④他の環境団体等と協働した環境活動数	20件以上														
⑤講座の参加者の満足度	90%以上														
①一般の県民を対象とした環境学習参加者数	2,700人以上														
②「センター通信」等の情報発信数	365回以上														